

1. (1)～(7)の関係が成り立つ接続詞をそれぞれア～キから選び、記号で答えなさい。  
(1)逆接【イ】 (2)選択【オ】 (3)添加(累加)【エ】 (4)並列(並立)【ウ】  
(5)順接【ア】 (6)転換【キ】 (7)同格(言い換え・例示)【カ】

ア、したがって イ、しかし ウ、また エ、そのうえ オ、もしくは カ、たとえば キ、さて

2. 次のそれぞれの2つの文はどのような関係になっていますか。下のア～オからえらび、記号で答えなさい。また、文と文をつなぐ接続詞も A～H の中から答えなさい。

<<例>>

プリンにしますか。( A )ショートケーキにしますか。【 オ 】

答え Aとオ

- (1)授業のベルが鳴った。( C )担任の先生はまだ来ていない。【 エ 】  
(2)沖縄はもう暑いらしい。( H )北海道はまだ真冬の寒さなのに。【 ウ 】  
(3)ゴールまではそう遠くない。( G )君が思うよりはずっと近い。【 イ 】  
(4)彼の変化球はよく曲がる。( F )スピードもとても速い。【 ア 】

A、それとも B、さて C、しかし D、だから E、なぜなら F、そのうえ  
G、つまり H、一方 I、しかも

ア、添加(累加)型 前文の事柄に、後続の文の事柄を付け加える関係。

イ、同格(言い換え・例示) 前文の事柄について、後続の文で、別の言い方で繰り返したり、例を挙げて述べたりする関係。

ウ、対比型 前文の事柄と、後続の文の事柄とを比較・対比する関係。

エ、逆説型 前文の事柄から、当然、類推される結果とは逆の結果が後続の文にくるような関係。

オ、選択型 前の事柄と、後続の文の事柄のどちらか一方を選択する関係。

3. 次のA～Dの文章を並べ替えて、意味の通る文章になるように並べ替えなさい。

A、「折り紙付き」の「折り紙」とは、美術品などに付ける鑑定書を意味する言葉である。

B、先日、だれかが「彼は折り紙付きの悪党だ。」と言うのを耳にした。これは、「折り紙付き」という言葉の使い方として正しいのだろうか？

C、つまり、この言葉は本来、「折り紙付きの絶品料理」のように、よい意味で使う言葉である。

D、したがって、「折り紙付きの悪党」のように、悪い意味でこの言葉を使うのは正しい言い方とは言えないのである。

【 B 】→【 A 】→【 C 】→【 D 】

4.次のA～Eの文章の接続のしかた・段落の組み立てをア～ケから選びなさい。

- A 音楽にはさまざまな楽しみ方がある。  
B たとえば、音楽を聴く楽しみがある。ラジオやホールで演奏を鑑賞するといった楽しみ方だ。  
C また、演奏をする側として、自分自身が演奏するという楽しみ方もある。  
D さらに、自分で演奏する場合、本格的な奏者として取り組むことも出来れば、それを余暇として気軽に楽しむことも出来る。  
E このように音楽の楽しみ方は一つに限定されない。人によってさまざまな形でかかわり合うことができるのが音楽の良いところである。

ア、順接型・展開型    イ、逆接型    ウ、並列(並立)型    エ、添加(累加)型    オ、対比型  
カ、選択型    キ、補足(説明)型    ク、同格(言い換え・例示)型    ケ、転換型

(1)CとD 【 **エ** 】    (2)C・DとB 【 **ウ** 】    (3)B・C・DとA 【 **ク** 】

5.A～Dの各文が□に示された関係でつながるように並べ替えなさい。

- A、午後からは台風が来るかもしれないという。  
B、明日の天気は暴風雨らしい。  
C、バレー大会の行える体育館の手配を急いでいると連絡があったからだ。  
D、バレー大会は中止にはならないだろう。

累加添加型    →    逆接型    →    補足説明型  
【 **B** 】+【 **A** 】 ⇒ 【 **D** 】    ⇒    【 **C** 】

B-2 2回目 正解数:        /26